

取扱説明書	テレメータ
	アナログ信号伝送用 テレメータ変換器

TMA

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概要

主な機能と特長

TMAは、NTT等の専用回線を使用して、水位、圧力、流量、成分分析などのアナログ信号1点を遠隔地に伝送し、集中管理を行うための変換器です。（財）電気通信端末機器審査協会の技術的条件適合認定〔送信ユニット(TMA - S -)M90 - N239 - 0、受信ユニット(TMA - R -)M90 - N240 - 1〕を受けています。回路に生じる誘導ノイズの影響を受けません。出力回路は入力、電源と電氣的に絶縁されています。取扱いが容易なプラグイン構造です。

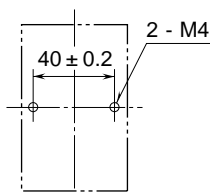
設置

設置には次のような場所をお選び下さい。

- 屋内で、周囲温度が-5 ~ +60 の場所
- 湿度が30 ~ 90 %RHで、結露しない場所
- 雨や水のかからない場所
- 腐食性ガス、粉塵や振動のない場所

取付は、壁取付またはDIN レール取付が行えます。壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）



・密着取付可能

調整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。

模擬入力信号を0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を0 % に合わせます。

模擬入力信号を100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を100 % に合わせます。

再び、模擬入力信号を0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。

ゼロ出力がずれているときは、～ の操作を繰返して下さい。

点検

端子接続図に従って結線がされていますか。

供給電源の電圧は正常ですか。

端子番号 - 間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

TMA - S の入力信号は正常ですか。

入力値が0 ~ 100 % の範囲内であれば正常です。

TMA - R の出力信号は正常ですか。

負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。回線抵抗値は正常ですか。

本器の許容回線抵抗値は3 k です。利用されるNTT専用線の往復抵抗値がそれ以下であるか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

接 続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。なお、専用線との接続を行うには、工事担任者の資格が必要です。接続は必ず工事担任者が行うか、工事担任者の監督のもとで行って下さい。

結線要領図

